

各 位

会社名 ワイエスフード株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 緒方正憲  
 (スタンダード・コード番号 3358)  
 問合せ先 総務人事IR 工藤 明  
 TEL 0947-32-7382

## 株式会社テクノバンク・サンケンとの合意書の締結、 臨時株主総会開催日時・場所及び付議議案の決定並びに取締役の異動に関するお知らせ

当社は、令和4年9月22日付け「株主による臨時株主総会の招集請求に関するお知らせ」で開示しましたとおり、同月21日、当社株主である株式会社テクノバンク・サンケン（以下「テクノバンク・サンケン」といいます。）から「臨時株主総会招集請求書」を受領し、同年10月4日付け「臨時株主総会招集のための基準日設定に関するお知らせ」においてお知らせいたしましたとおり、臨時株主総会招集のための基準日を同月22日と定め、同月7日にこれを公告いたしました。この度、当社は、臨時株主総会招集請求書の内容を精査し、テクノバンク・サンケンとの間で協議を行った結果、新たな経営体制を構築すること等を内容とする合意書（以下「本合意書」といいます。）を締結いたしましたので、お知らせいたします。

また、本合意書に基づき、本日開催の取締役会において、臨時株主総会（以下「本臨時株主総会」といいます。）の開催日時・場所及び会社提案による付議議案について決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

これに伴い、下記のとおり取締役の異動について内定いたしましたので、お知らせいたします。なお、取締役の異動については、令和4年12月6日開催予定の本臨時株主総会に付議し、正式決定する予定であります。

### 記

#### 1. 本合意書締結の経緯

本合意書締結の経緯は以下のとおりです。

現任取締役らは、これまで、当社経営の安定と発展を図るため、当社の強みを活かしつつ問題点に真摯に向き合うことで、新型コロナウイルス感染拡大に伴い飲食業界全体が苦境にあったにもかかわらず、第27期（令和3年3月期）、第28期（令和4年3月期）ともに、営業キャッシュ・フローが正へ転換し、第28期（令和4年3月期）においては、以下のとおり、経常利益を黒字に転換することに成功いたしました。

連結	第22期 2016年3月期	第23期 2017年3月期	第24期 2018年3月期	第25期 2019年3月期	第26期 2020年3月期	第27期 2021年3月期	第28期 2022年3月期
売上高	1,806,155	1,793,160	1,713,904	—	—	—	—
売上総利益	926,165	852,864	770,378	—	—	—	—
営業利益	-2,495	-37,607	-103,640	—	—	—	—
経常利益	-35,530	-43,711	-190,256	—	—	—	—
当期純利益	-7,276	-105,759	-263,680	—	—	—	—

単体	第22期 2016年3月期	第23期 2017年3月期	第24期 2018年3月期	第25期 2019年3月期	第26期 2020年3月期	第27期 2021年3月期	第28期 2022年3月期
売上高	1,791,944	1,790,416	1,690,583	1,601,905	1,484,498	1,303,598	1,287,246
売上総利益	871,902	851,295	796,119	755,257	675,700	615,329	636,286
営業利益	-3,751	3,949	-32,759	-71,437	-115,405	-94,885	-46,179
経常利益	-36,838	-6,645	-186,965	-144,519	-281,500	-73,687	3,746
当期純利益	-106,414	-73,451	-296,422	-76,840	-357,155	483	-83,134

キャッシュ・フロー	第22期 2016年3月期	第23期 2017年3月期	第24期 2018年3月期	第25期 2019年3月期	第26期 2020年3月期	第27期 2021年3月期	第28期 2022年3月期
営業活動によるCF	111,947	-31,914	-37,641	-53,196	-24,826	70,134	61,137
投資活動によるCF	-5,459	-106,764	-99,038	115,011	137,446	199,138	-35,345
財務活動によるCF	-116,306	-121,084	-84,415	-148,389	-267,162	123,675	-69,822
現金増減額	-9,818	-259,763	-221,094	-86,574	-154,543	392,948	-44,030
現預金等の期首残高	831,819	822,000	562,237	326,509	239,934	85,391	478,339
吸収合併の増加額	0	0	0	0	0	0	0
現預金等の期末残高	822,000	562,237	341,142	239,934	85,391	478,339	434,309

役員構成	第22期 2016年3月期	第23期 2017年3月期	第24期 2018年3月期	第25期 2019年3月期	第26期 2020年3月期	第27期 2021年3月期	第28期 2022年3月期
代表取締役	緒方正憲	緒方正憲	緒方正憲	緒方正憲	緒方正憲	緒方正憲	緒方正憲
取締役	中村行男	中村行男	中村行男	中村行男	中村行男	本瀬 建	中井川 俊一
取締役	茅嶋祐一	茅嶋祐一	茅嶋祐一	茅嶋祐一	茅嶋祐一	中原 真	本瀬 建
取締役	原亮一	原亮一	原亮一	原亮一	原亮一	毛利 貴之	中原 真
取締役	岩下征吾	岩下征吾	岩下征吾	岩下征吾	岩下征吾	濱崎 祐和	濱崎 祐和
社外取締役	—	—	—	—	—	—	紙田 拓弥
常勤監査役	森弘之	森弘之	森弘之	森弘之	森弘之	森弘之	森弘之
監査役	杉山 耕司	杉山 耕司	杉山 耕司	杉山 耕司	杉山 耕司	杉山 耕司	杉山 耕司
社外監査役	田吹 多祥	田吹 多祥	田吹 多祥	田吹 多祥	田吹 多祥	田吹 多祥	田吹 多祥
社外監査役	吉富真二	吉富真二	吉富真二	吉田彰宏	吉田彰宏	市川 琢也	市川 琢也

当社は、第26期（令和2年3月期）時点において、5期連続の経常損失を計上している状況のもと、金融機関からの借入れなどの間接金融では資金を確保することは困難であり、エクイティ性の資金調達につきましても検討は続けてきましたが、同様の理由により難航をしておりました。さらに、令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大により外食産業が甚大な影響を受け、同年3月末には当期純損失は357,155千円となり、現金預金残高が120,919千円（現金及び現金同等物の期末残高は85,391千円）まで減少しました。その後も業績は回復せず、当社は令和2年8月4日に「継続企業の前提に関する事項の注記に関するお知らせ」を公表し、さらに、第23期（平成29年3月期）から第26期（令和2年3月期）の4事業年度における営業利益及び営業キャッシュ・フローの額が負であることが確認されたため、同年9月30日には上場廃止に係る猶予期間に入るに至りました。

このような厳しい状況において、現在当社の取締役である本瀬建（以下「本瀬氏」といいます。）より第三者割当増資の提案がなされ、令和2年9月7日開催の第26回定時株主総会の決議を経て352,000千円の増資が実行されました。また、同総会において、本瀬氏、及び中原真氏（以下「中原氏」といいます。）が取締役に就任し、それまで長年にわたり当社の経理・財務及びIR業務等に従事してきた濱崎祐和氏（以下「濱崎氏」といいます。）が取締役に就任しました。

そして、当社には社外取締役が存在しなかったことを受けて、令和3年6月25日開催の第27回定時株主総会において、紙田拓弥氏（以下「紙田氏」といいます。）が社外取締役に就任しました。紙田氏は、社外取締役として、IT企業の役員としての豊富な経験と経営者としての幅広い見識から、当社の経営に対する助言を行うなど、当社の意思決定の妥当性・適正性を確保するための適切な発言・役割を果たしております。

その後、現任取締役らは、令和3年3月期及び令和4年3月期の有価証券報告書等に記載の通り、取引金融機関との間で度重なる交渉の末、令和3年4月以降の借入金返済について、返済条件の緩和（支払余力に応じたプロラタ返済）について合意し、取引金融機関への返済を猶予して頂くことにより運転資金として現預金を確保することができました。

また、当社は、「角煮ラーメン」「濃いラーメン」「カレー担々麺」「やまじろう」「山小屋オリジナル無限激辛カレー」等、自社工場生産の利点を最大限に活用した様々な新商品の開発を行い、ご好評を頂きました。さらに温泉事業の利用者増加に向けた各種施策や、新型コロナウイルス感染症の拡大に対応した新規事業として空間清浄化システム『SterilizAir』の販売事業も実施致しました。

その結果、新型コロナウイルス感染症の拡大という厳しい経営環境にはあるものの、令和2年9月30日に継続企業の前提に関する注記が解消され、さらには、令和4年3月期においては平成27年3月期以来、7年ぶりに経常利益が黒字へ転換するに至り、財政状態も徐々に改善されてきております。

また、現任取締役らにおけるガバナンス体制にも、特段問題はございませんでした。

当社は、毎月開催される定時取締役会を通じ法令、定款に定められた事項の決議及び重要な業務に関する事項についての報告、審議並びに決議を行っております。また、令和3年7月以降は、取締役、常勤監査役、執行役員、内部監査室及び（必要に応じて）実務責任者の出席のもと、「経営戦略会議」を開催し、定時取締役開催前の従前説明・相談の場を設け、新商品の開発や各事業に必要な経費・設備投資等も、当該会議において報告を行い、充実した意見交換も行っておりました。加えて、令和3年10月以降、当社取締役、執行役員、監査役の他、外部委員も加えた「コンプライアンス委員会」を開催し、コンプライアンス上の事項について審議しております。これらの会議には、社外取締役の紙田氏や、社外監査役も出席し、独立した立場からの意見も得ております。

さらに、当社は、社内規程やマニュアルを遵守し、事業の運営を行って参りました。当社の社内手続きは職務権限規程に則り、社内グループウェアのワークフロー機能を用いて適正に決裁手続きがなされ、社内での情報共有はもちろんのこと、検証者による確認、決裁権者による適正な判断が行われ、その内容や手続きについては監査役や内部監査室による事後的な確認も受けております。

このように、当社のガバナンス体制は適正に機能しており、監査役会、内部監査室からも、それぞれ同様の意見を得ております。

このとおり、現任取締役らは、在任中、当社経営の安定及び発展に向けて最大限の努力をし、ガバナンス上の問題点も特段ございませんでした。しかしながら、テクノバンク・サンケンから「臨時株主総会招集請求書」を受領し、当社大株主から、当社の成長と発展についてよりスピードアップするよう求められたことについては、その責任を重く受け止めるべきと認識いたしました。加えて、当社の経営陣と株主とが対立している状態が継続していることは、当社の中長期的な企業価値ひいては株主共同の利益を損なうことになりかねないと考えました。

そこで、当社は、テクノバンク・サンケンと協議を重ね、当社の成長と発展をより一層スピードアップしてまいるために、テクノバンク・サンケンが提案する取締役候補を受け入れることとし、現任取締役らのうち本瀬氏、中原氏、濱崎氏及び紙田氏は、本合意書の締結日に当社の取締役を辞任することとして、これらを内容とする本合意書を締結することといたしました。これにより、当社の成長と発展がより一層スピードアップされ、当社株主、従業員、FC加盟店、金融機関、取引先を含む全てのステークホルダーにとって、より良い結果となることを希望しております。

なお、現任取締役のうち、代表取締役社長である緒方正憲及び取締役会長である中井川俊一は、引き続きその職に留まり、本臨時株主総会において新たに選任予定の取締役らと協働して、更なる当社の企業価値・株主共同の利益の向上のため、邁進してまいります。

## 2. 本合意書の概要

本合意書の概要は、以下のとおりです。

### (1) 本臨時株主総会の招集及び議案の上程

① 当社は、以下の要領で本臨時株主総会を招集し、(iii)号記載の議案を上程する。

#### (i) 開催日時

令和4年12月6日（火曜日）午前10時

#### (ii) 開催場所

福岡県田川郡福智町弁城1300番1 ほうじょう温泉 ふじ湯の里 会議室

#### (iii) 決議事項

議案 取締役8名選任の件

② 前項(iii)号記載の本臨時株主総会における決議事項につき、選任に係る取締役の候補者は、花岡健一、中村行男、上田正巳、江川麗子、江本克也、岩田康裕、森井じゅん及び渡辺治とする。

### (2) 現任取締役らの辞任

① 現任取締役らのうち、本瀬氏、中原氏、濱崎氏及び紙田氏は、本合意書の締結日に当社の取締役を辞任する。

② 現任取締役らは、新経営体制の構築にあたって合理的に必要な業務の引継ぎを行うものとし、本臨時株主総会の終結後においても、当社が要請する場合は合理的な範囲でこれに応じる。

## 3. 臨時株主総会開催日時及び場所、付議議案の決定について

当社は、本合意書に基づき、本日開催の取締役会において、本臨時株主総会の開催日時・場所及び会社提案による付議議案について、以下のとおり決議いたしました。

### (1) 本臨時株主総会の開催日時、場所

開催日時：令和4年12月6日（火曜日）午前10時

開催場所：福岡県田川郡福智町弁城1300番1 ほうじょう温泉 ふじ湯の里 会議室

(2) 本臨時株主総会の付議議案

【会社提案】

決議事項

議案 取締役8名選任の件（取締役候補者は、花岡健一、中村行男、上田正巳、江川麗子、江本克也、岩田康裕、森井じゅん及び渡辺治の各氏）

4. 取締役の異動について

(1) 異動の理由

前記のとおり、当社は、当社の成長と発展をより一層スピードアップするために、テクノバンク・サンケンが提案する取締役候補を受け入れることとし、現任取締役らのうち本瀬氏、中原氏、濱崎氏及び紙田氏は、本合意書の締結日に当社の取締役を辞任することといたしました。つきましては、当社は、本日開催の取締役会において、以下(2)のとおり取締役の異動(以下「本異動」といいます。)を内定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、取締役の選任については、令和4年12月6日開催予定の本臨時株主総会において正式に決定される予定です。

(2) 取締役の異動

① 新任取締役候補（令和4年12月6日付け）

氏名	新役職名	現役職名
花岡 健一	取締役	—
中村 行男	取締役	執行役員
上田 正巳	取締役 (社外取締役)	—
江川 麗子	取締役 (社外取締役)	—
江本 克也	取締役 (社外取締役)	—
岩田 康裕	取締役 (社外取締役)	—
森井 じゅん	取締役 (社外取締役)	—
渡辺 治	取締役 (社外取締役)	—

② 辞任する取締役（令和4年10月31日付け）

氏名	現役職名	辞任の理由
本瀬 建	取締役副社長	新たな経営体制の構築のため。
濱崎 祐和	常務取締役	〃
中原 真	取締役	〃
紙田 拓弥	取締役 (社外取締役)	〃

以上